

第 2 課題

『 Around the Dish 』

美和小織 + 萩原剛
TA: 福田朱音

食事とインテリアデザイン

< はじめに >

「料理」料理は誰かの素晴らしい発明品だと言えます。食パンは産業革命が興ったイギリスで成型技術と共にパンの大量生産を可能にし、食材を挟んで食べるサンドイッチに発展しました。そして料理を構成する「食材」は色や形、香りや手触りといった素材感にあふれ、日々生産者によって改良が重ねられています。

「食べる事＝食事」文明が進み、生活や環境の変化と共に様々な価値観が生まれました。人の欲望や希望も複雑になり、「食事」も食欲や栄養だけを満たせば良いというものでは無くなりました。流通が発達し、様々な材料の入手と保管が容易になった現代では、私たちは時と場所と状況にふさわしい食事を選択することができます。寒いとき暑いとき、運動をするとき、病気のとき、休息したいとき、礼儀を要するとき、お祝いするとき、考え事をしたいとき、時間がないとき、歳をとったとき。

「ここで食事をしたい」という欲求に呼応するのはどのような場なのであろうか。食事とインテリアデザインの可能性を考えます。

2020 年 新型コロナウイルス感染症対策として世界中で飲食店の営業を制限する行政命令や要請が発令された。感染者数の推移により休業や時短を余儀なくされ外食産業全体が窮状の中、接客スタイルやテイクアウトの比重、伝統の継承など、柔軟な危機対応が多面的に求められた。2023 年 5 月 新型コロナウイルス感染症は感染症法上の 5 類と位置付けられ、厚生労働省より感染症対策は個人や事業者の判断に委ねるとの見解が示された。食は文化である一方、食料自給率、飽食と飢餓、フードロス、環境負荷、働き方など、食産業は改善すべき問題を多く抱えている。

< 出題 >

「食事ができる空間」をデザインする。

デザインする対象（料理 / 料理人など）を明確にするため、料理本を 1 冊選び内容を読み込むこと。

※ 本が準備できない場合は本に相当する情報をまとめて編集すること。

< 条件 >

- ・食事が出る空間をデザインし、客席数 30 席以上を確保する。
- ・上記の空間に加え、必要な機能を企画し空間に展開すること。
- ・厨房は全体面積の 1/3 程度を基準にメニュー内容により相談のうえ面積や機器の内容を決定する。
- ・アトリウムやエスプラナード、エントランスホールとの関係性を捉え、空間の特徴を生かした計画とする。
- ・厨房内 4 名、ホール 8 名程度のスタッフを配置し、休憩用のバックヤードを確保する。
- ・インテリアエレメントの配置や仕様をデザインし作図と模型で表現する。
- ・図面やプレゼンテーションボードでマテリアルを明確にする。
- ・直接的な意匠や素材にとらわれすぎず、抽象的な表現や新しい価値観を模索したい。

計画条件

用途 食物販店

敷地 東京都港区南青山 5 丁目 6 番 23 号スパイラル 1 階

規模 床面積 647.45 m² 天井高 3,600mm ~ 16,800mm

構造 SRC 造 / 地上 9 階・地下 2 階 竣工年月 1985 年 8 月（昭和 60 年 8 月）

敷地面積 1,733 m² 建築面積 1,462 m² 延床面積 10,560 m²

提出図面 / スケジュール

11/24（金）課題出題、第 3 課題講評会

12/01（金）各自発表（A3 4 枚以上）料理本の内容と食空間についてのリサーチ・アイデアスケッチとゾーニング・コンセプト

12/08（金）平面図・展開図・スタディモデル複数案のプレゼンテーション ※作図用 1/50 A1size 模型用 1/40 B1size プロッタ出力紙各自準備

12/15（金）上記に加え家具図面（1/10）、天井伏図（1/50）

12/22（金）中間発表（A1 縦使い見開き 2 枚以上）模型（1/40）、平面図・天井伏図・展開図（1/50）、家具図面（1/10）

1/12（金）エスキース 素材とディテールスタディ・模型（1/40）、平面図・天井伏図・展開図（1/50）、家具図面（1/10 または 1/5）

1/19（金）最終提出・採点

1/26（金）講評会

提出物

1. コンセプトシート（イメージ画像・スケッチ・設計意図やコンセプトを示したダイアグラム）
2. 平面図（1/50）
3. 天井伏図（1/50）
4. 展開図（1/50）
5. 模型（1/40）
6. 家具図（1/10 または 1/5）
7. マテリアルボード
8. アクソメ図
9. 模型写真

提出期限とフォーマット

1/19（金）PM18:00-19:00

芸術学校事務所まで。当日、採点を行う。20:00 より図面返却予定。

A1 縦使い 6 枚以上～原則 8 枚以内

科目名、課題タイトル・氏名・学籍番号を記載した表紙を付けること。

参考書籍

槇文彦のディテール / 彰国社 1999